

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 91713 単位数 : 2

科目名	特別活動	科目責任者	鉤 治雄
課題と試験担当教員	鉤 治雄、田中 健一、高田 裕美		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC256		

■ 科目概要

中学・高等学校の特別活動は、「学級活動」(高校の場合は「ホームルーム活動」)、「生徒会活動」、「学校行事」の諸活動で成り立っています。これらの諸活動は、生徒による望ましい集団活動をとおして、よりよい生活や人間関係を育み、自主的、実践的な態度を育てていくところにあります。

テキストでの学習を通して、中学・高等学校における望ましい集団活動としての特別活動の教育的意義について、しっかりと学習してください。

■ 到達目標

テキストでの学習を通して、学んでほしい点は、以下の3点です。

- ①今回の改訂における中学、高等学校の学習指導要領における特別活動の「目標(ねらい)」と「活動内容」について、しっかりと理解を深めること。
- ②「年間指導計画」が作成できるようになること、また、「学級活動」(高校の場合はホームルーム活動)における学習指導案を作成できるようにすること。
- ③集団活動や体験的活動の充実のさせ方について、具体的事例をとおして学ぶこと。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
巻末資料 中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領	◎中学校、高等学校の学習指導要領に目をとおして、望ましい集団活動としての特別活動の全体像を理解すること。 ◎学級活動、生徒会活動、学校行事の各活動の目標と内容を理解すること。
第1章第1節 「明治期における課外活動」	特に、中等以上の諸学校にみる「課外活動」について、明治期の課外活動の特徴について、しっかりとおさえて理解を深めること。
第1章第2節 教科課程としての「自由研究」	昭和22年の学習指導要領一般編と「自由研究」の特徴、および「自由研究」の廃止と「特別教育活動」への移行の過程について、中学・高等学校の場合を中心に理解を深めること。
第1章第5節	昭和33年の学習指導要領における「特別教育活動」の目標と内容について、中学・高等学校を中心によく理解すること。
第2章第1節	中学・高等学校における平成元年の学習指導要領にみられる特別活動の活動内容について、理解を深めること。
第3章第1節	現在の教育課程の基本理念としての「生きる力」との育成と、中学、高等学校における特別活動の役割について知ること。
第3章第3節の3.4.5	現在の中学校および高等学校の特別活動における「学級活動」(ホームルーム活動)、「生徒会活動」「学校行事」の特徴について、「目標」や「内容」の上から、理解を深めること。
第4章第2節	中学校の「学級活動」、および高等学校の「ホームルーム活動」の教育的意義と、具体的事例について、特に、「生活づくり」や「学業と進路」の上から、理解を深めること。
第4章第2節	中学校の「学級活動」、および高等学校の「ホームルーム活動」における「話し合い活動」の重要性と、その具体的進め方について、習得すること。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第4章第2節	中学校の「学級活動」、および高等学校の「ホームルーム活動」における「学習指導案」の作成の仕方について、「内容(1)―学級や学校の生活づくり」の点から習得すること。
第4章第2節	中学校の「学級活動」、および高等学校の「ホームルーム活動」における「学習指導案」の作成の仕方について、「内容(3)―学業と進路」の点から習得すること。
第5章第2節	中学校、および高等学校の「生徒会活動」の具体的取組事例について、特に「いじめ防止」の観点から、理解を深めること。
第7章第2節	中学・高等学校の「学校行事」の特質と内容について、理解を深めること。特に、「体育的行事や文化的行事の活動と評価」、および「修学旅行とホームルームでの話し合い」の具体的事例について、理解を深めること。
第3章	中学、高等学校における特別活動の「年間指導計画」の作成の仕方について学ぶ。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	第1回目～第14回目の学習範囲の中から、出題します。特に、現在の学習指導要領の目的と活動内容については、よく学習しておくこと。
レポート	第1課題は、第1回目～第8回目をよく学習しておくこと。 第2課題は、第9回目～第14回目をよく学習しておくこと。ポイントをおさえて、自分の言葉で考察してください。

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：特別活動改訂版
著者名：鈎治雄
出版社名：創大通信教育部
出版年：平22.4
版：改訂版
刷：
ISBN：978-4-86302-043-6

■ 参考書

- ・著者名：森嶋昭伸・鈎治雄
- ・書名：『中学校・特別活動の実践をどう創るか』
- ・出版社：明治図書
- ・出版年および版：2000年

■ 履修上のアドバイス

共通科目の「教育学」の授業を、事前に受講されておくことをおすすめします。

特別活動は、教育課程の中でも、生徒の望ましい集団活動や人間関係能力を育み、学級経営の基盤づくりの上で、きわめて重要な役割を担っています。その意味で、とりわけ、教員を目指す人は、しっかりと学習してください。

■ 自習時間

1コマにつき、2時間程度を充当してください。レポート1つの課題の作成に際して、15時間は充当してください。試験に際しても、10時間以上の学習を望みます。

■ 担当者のプロフィール

1951年大阪生まれ。創価大学教育学部教授。創価大学教職キャリアセンター長を兼任。専門は心理学、教育心理学、臨床心理学。特別活動。通信教育部では、「心理学」「教育学」のスクーリングを担当。大学院では、学校臨床心理学、教育心理学特論を担当。現在、日本特別活動学会副会長・常任理事。